

ることも比較的容易かも知れないが、併し幼児教育と云ふものはそんな、容易なことではない。何の教育でも然うであるが、特に幼児教育は、前述べた處の特色を以て居るものであるから、甚だ六かしいことになる。いはゞ幼児教育者は、教育上の細い技巧でなくして、此の教育の根本的理解と資格とからでなくては出來ないものである。

## 幼稚園と自然

ドクトル 三・田 谷 啓

自然を顧慮せられぬ幼稚園は到底失敗に終ることを免れませぬ。幼児の精神生活は自然であります。其自然の精神生活が外界の天然にまた深い關係を持つて居るのです。

林の中に小鳥が自由自在に樂しげに囀つて居る如く、幼児の精神生活は自由でそして自然であります。

以上、別に新らしいことでもなく、誠に平凡なことであるが、私としては多少考へて居る點もあつて申し上げました次第である。此の簡単なお話も、諸君のお考へによつて、少しでも意味あるものにお聽きなし下さつたならば、此上もない幸である。

幼稚園教育の一大要點は幼兒を「自然」に一致して指導すると云ふことあります。この調和がよく保たれて初めて幼稚園教育の目的が達せられるのです。今二三の例を申せば此關係がよくわかれます。

幼兒の身體の發育も精神生活も悉く自然の原則に従つて居るのである。自然の法則を破つて出ることは出來ませぬ。お伽噺を好むのも自然である鳥や獸を好むのも自然である。この自然を顧みずして非自然を以て取扱ふときはそこに衝突が生じて来る。この衝突が幼兒の精神生活を破るのであります。

單に幼兒のみならず。成人も同じことである。自然に適合した生活は何より良い養生の法であります。不自然なことをするから病氣に罹り易くなるのであります。

幼稚園の可否に就て何や歎やと論する人がある。これは幼稚園其ものゝ可否にあらずして導く人の

如何によつて分かれて來る問題である、幼兒の精神生活に一致した保育であれば幼稚園存廢論などは出て來る筈はないと思はれます。

幼兒が天然を好むのは自然である。これをよく利用すればそこに調和が出來、教育の効果が現はれるのであります。この意味に於て天然を幼稚園教育に用ふることは大切であります。

幼稚園教育に於てどれだけ天然を利用し得るかと云へば、園外に於ける散歩等を別にして凡そ次の如きことを行ひ得るのであります。

#### 一、お庭の遊び

これには植物を世話させることも出來ます。耕したり又肥料を施すことは成人が行つて幼兒には種をまかせ、水を注ぎ、草をとる位のことを行はせるのであります。幼兒の數の多いところでは花園を區分して幼兒の所有地を定めることも出來ます。

砂場を造つて遊ばせるやうにすることも必要である。砂場の上には別に屋根を造り或は影多き樹

木を植ゑてもよろしい。夏の炎天には蔽物なき砂場は適當でありませぬ。砂場にて用ふるために小形の鋤様のものを與へると幼兒は大に喜びます。

芝生を造ることも必要である。芝生の上では軽快な遊びが出来ます。又怪我することも殆んど無い。思ふ存分に遊ぶことが出来ます。

花園及び果物園を設けるのも好い工夫だと思ひます。また四季折々に鉢植等を交替して置くことも面白いと思ひます。例へば朝顔の如き、「タンボ」の如き、「スミン」の如き、牡丹の如き、薔薇の如き、其他種々のものがあります。花の外に花なき植物も適宜に見せて置くことがよいと思ひます。

## 二、動物を飼ふこと

幼兒が動物を愛することも自然である。或時は動物を我友とするのである。同情の念も動物に對して起つて來るのであります。動物の種類は犬や、猫や、鳩や、鶏や、猿や、鶴や、兎や、いろいろ

あります。適當なものを選んで飼つて置くとよろしい。動物の戯るるところ、鳥の囀るところに幼兒は多大の教育的事件を發見するのです。

又季節に應じて昆蟲の類を集めることも面白いと思ひます。何も六かしいことを教へる必要はない。幼兒に見せて置けば幼兒は自己の能力だけに種々のことを自ら修得するのです。

其他金魚、鯛、鯉を飼つて置くのも利益あることと思ひます。

右に述べたことは勿論、土地の關係、園の廣狹其他種々の關係によつて十分に行はれぬことがありますうけれども、兎も角天然や自然を幼兒の精神に結びつけることの重要を認め、適當の方法を以て設備するやうに努めたいと思ひます。

\* \* \* \*

終りに天然が幼兒教育に及ぼす價値のことを少し述べませう。

幼少の時代に得た印象は割合に永く續くもので

す。これが感化教育上的一大要點です。幼少の間に花を愛し樹を護ると云ふ美はしい習慣を造り、また鳥や獸を愛してまるで我が友の如く取扱ふ中に、自ら美はしき同情の念を生ずるは幼兒の精神生活に大きな價値がある。天然を愛するのは高尚な精神生活の發達する始めであります。

幼少の時に此美はしい天然を愛する心を養つて置けば、後に迨んで動物を虐待するやうなことは避けられると思ひます。西洋の人々はよく動物を

愛します。例へば犬や馬などを愛する程度は大したもので。これも矢張幼少の間から常に犬や、馬を友の如く愛して居つたためだらうと思ひます。

自然を尊び天然を愛する心を幼兒の胸に深くつぎ込んで置けば、これが智情意の方面に種々の形に於てよき實を結んで實際生活に利益を與へるのです。この邊の消息は幼兒哺育に従へる人の領解を要するところだと思ふのであります。

## 幼稚園に於ける數の取扱につきて

神戸幼稚園長 望月くに

時に數觀念の伴ふものなれども、幼兒に於ては無論數觀念の構成せられたるにも、理解せられたる

(1) 數の名稱とは、數の系列即一二三四五六と數の順序通りに読み行くことにして、大人ならば同數の名稱即言語を學習したるに過ぎずして、數の